

三宅島の火山活動解説資料

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

<噴火警戒レベル1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引上げ>

三宅島では、本日（17日）10時頃から山頂火口直下を震源とする火山性地震が増加しています。また、傾斜観測では、10時頃から山頂方向上がりの変動が見られています。

このため、本日（17日）12時50分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベル2（火口周辺規制）に引き上げました。今後、山頂火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がありますので警戒してください。

防災上の警戒事項等：

雄山環状線内側では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけではなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

○ 活動概況

・地震の発生状況（図2、図3）

17日10時頃から山頂火口直下を震源とする火山性地震が増加しています。

・地殻変動の状況（図4）

島内に設置している傾斜計では、本日10時頃から山頂方向上がりの傾斜変動が認められています。

・噴気など表面現象の状況

昨日（16日）12時以降、雲のため山頂火口の噴煙の状況は不明です。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『2万5千分1地形図』『数値地図25000（行政界・海岸線）』『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています。

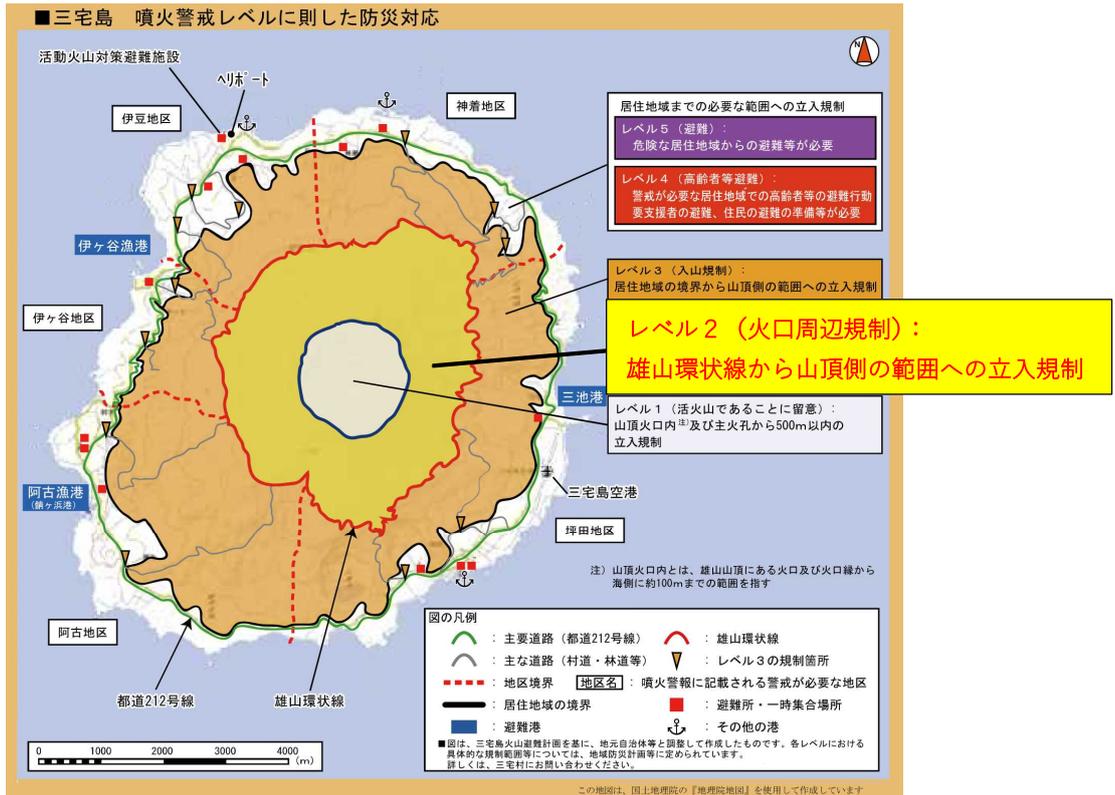


図1 三宅島 噴火警戒レベル2に対応した警戒が必要な範囲

特別地震回数

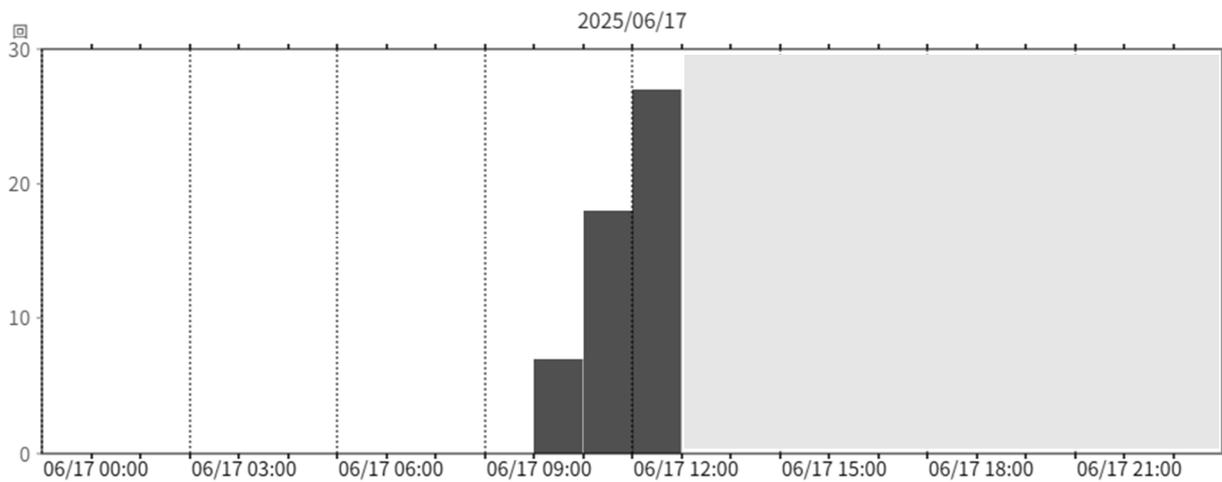


図2 三宅島 特別地震回数 (2025年6月17日00時~12時45分まで)

- ・本日 (17日) 10時頃から火山性地震が増加し、24時間における地震回数は50回を超えています。
- ・火山性微動は観測されていません。

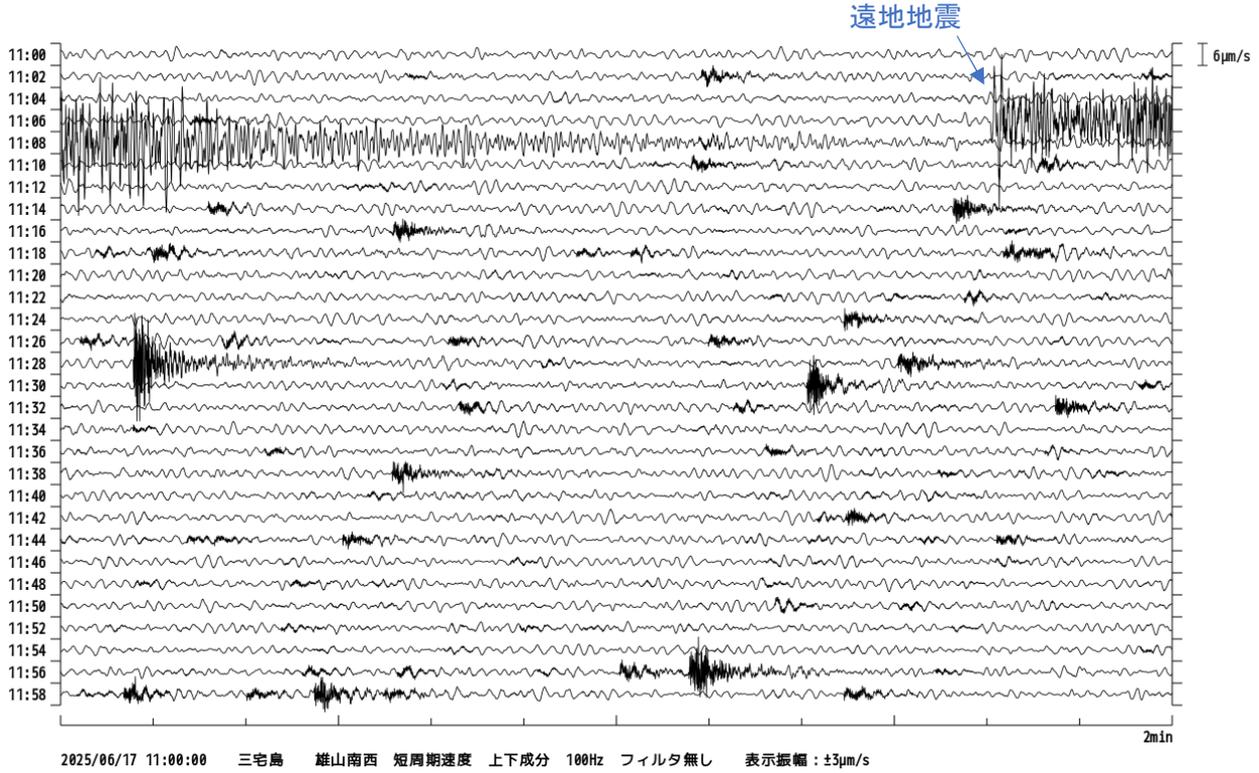


図3 三宅島 本日（17日）11時台に観測された火山性地震

雄山南西観測点の地震計で観測された上下動の速度波形を示しています。

- ・本日（17日）10時頃から山頂付近を震源とする微小な火山性地震が発生しています。

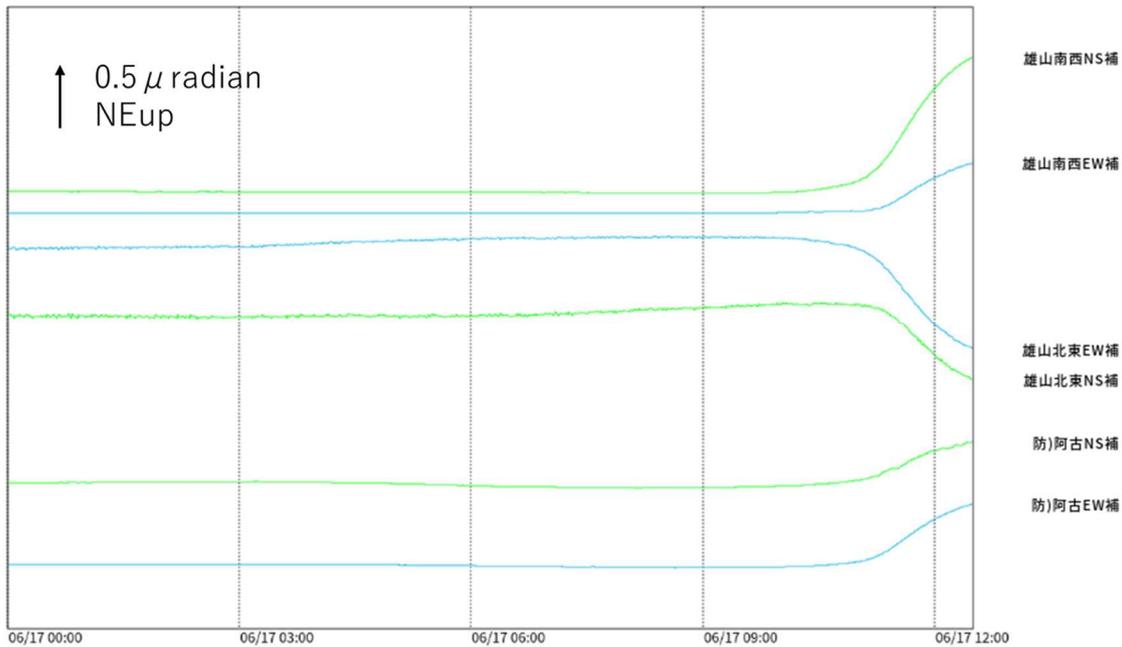
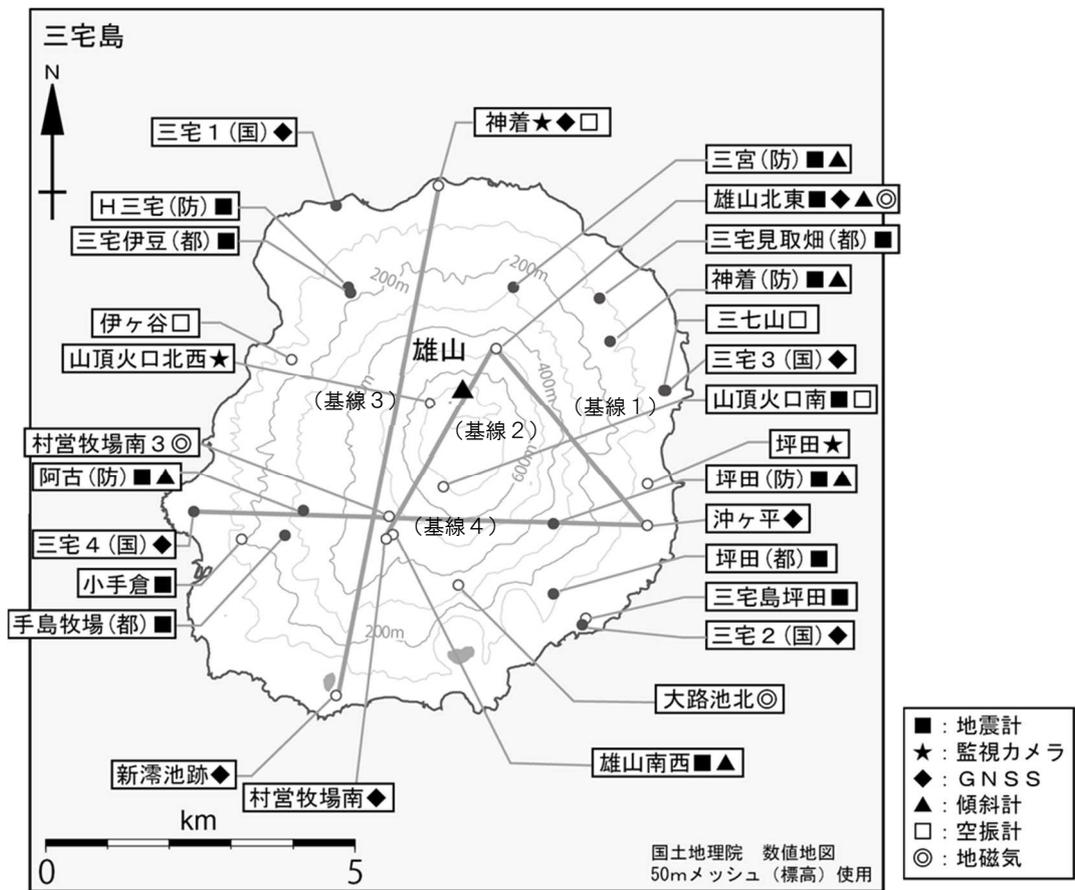


図4 三宅島 地震増加に伴い観測された傾斜変動（17日00時00分～12時30分）

- ・島内に設置している傾斜計では、本日（17日）10時頃から山頂方向上がりの変動が認められています。



小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(国) : 国土地理院、(防) : 防災科学技術研究所、(都) : 東京都

図5 三宅島 観測点配置図